

一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構
平成 27 年度第 3 回理事会 議事録

日 時 平成 28 年 6 月 30 日(木) 14 時 00 分～16 時 30 分

場 所 一般社団法人日本医療情報学会 会議室

出席者 奥田保男（代表理事）、上村幸司（理事）、川眞田実（理事）、近藤博史（理事）、松田恵雄（理事）、錦 成郎（監事）、渡邊亮一（監事）、山本和子（事務局長）

web 出席者 小笠原克彦（理事）

議事に先立ち、奥田代表理事により出席者の確認が行われ、平成 27 年度第 3 回理事会の成立が宣言された。続いて、奥田代表理事より、川眞田理事を議事録作成人とする発言があり、全会一致で承認された。

1. 平成 27 年度事業報告および収支決算

(ア) 理事会報告

奥田代表理事より、本年度に行われた 3 回分の理事会の報告が行われた。

(イ) 試験委員会

小笠原試験委員長より、活動報告（広報・試験問題作成・採点評価）と認定試験の概要について報告が行われた。

(ウ) 教育委員会

松田教育委員長より、活動報告（2 種類のセミナーについての開催場所と参加者人数の報告）と冊子販売状況について報告が行われた。

(エ) 収支決算

- ・山本事務局長より、平成 27 年度の収支報告が行われた。資産の前年度の比較と負債額、業務委託費用について報告された。都税については、平成 28 年 4 月に支払ったことが報告された。
- ・錦監事より、平成 27 年度の監査報告が行われ、問題がないことが報告された。

2. 事務局体制と定款の変更について

- ・事務局業務について、本機構と同じ一般社団法人であるインターベンション専門技師認定機構との比較が行われた。川眞田理事より、インターベンション専門技師認定機構は、すべての事務局業務を担当理事が行っているという報告があった。
- ・奥田代表理事より、これまで医療情報技師育成部会が行っていた事務局業務を日本医療情報学会事務局が行うこととし、業務委託費を 20 万円/年から 43.2 万円/年にしたいという日本医療情報学会からの提案について説明が行われた。

- ・山本事務局長より、医療情報技師育成部会はすべての業務の引き継ぎを行い、前年度の同様の業務を行えるようにすることの補足説明が行われた。
- ・セミナーの申し込み画面に、入金確認の連絡が欲しい場合は当機構事務局へ連絡が必要な旨の注意書きを掲載してもらうことを追加委託した。
- ・予算計画表を確認しながら、委託金額に問題ないかの検討が行われ、事務局業務移行の提案が承認された。
- ・上記の承認を受けて、定款第 40 条の「事務局長」という表現を削除することが承認された。

3. 謝金支払細則（案）について

- ・松田理事より、謝金支払細則を定めることが提案され、謝金支払細則（案）が提示された。謝金支払細則（案）には、講演で用いた資料の使用権が含まれていること、謝金には源泉徴収や復興税を含んでいないことを確認し、謝金支払細則（案）を承認した。
- ・山本事務局長より、旅費清算書には、通常旅費規程に記載される内容が記載されていることから、新たに旅費規程を作成する必要がないことが説明された。また、当機構の日当は交通費と同様の扱いであることが確認され、次回の理事会において改めて議論することとなった。

4. 平成 28 年度事業計画および収支予算について

（ア）理事会

理事会を 5 回開催する（うち 3 回は web 会議）。

（イ）試験委員会

小笠原試験委員長より、試験日時、試験会場、試験に関するスケジュールが説明され、承認された。

（ウ）教育委員会

- ・松田教育委員長より、本年度も育成セミナーとスキルアップセミナーを東京と大阪でそれぞれ開催することが報告された。育成セミナーについては、試験対策セミナーではなく一般的な教育セミナーであることが補足説明された。一方、スキルアップセミナーについては、更新者のポイント救済を意図し年度末に予定していること、地域連携における画像の取り扱い、画像情報の外部保存に関する内容を検討していることが説明された。
- ・昨年度までの資料在庫は、過去問題集 8 冊、育成セミナー資料 19 冊、スキルアップセミナー資料 3 冊であった。在庫分は当機構の資産になることから、ホームページで在庫数を公表し、古いものから順に半額で販売する方針なども議論されたが、詳細な販売方法や在庫販売については教育委員会に一任された。

- ・委員会の委員は、日本医療情報学会側から推薦があれば随時受けることとなった。
- (エ) 収支予算

奥田代表理事より、昨年度までの実績を基に予算案が提示された。収入面では他の領域にも広報するという方針のもと予測数を増やし、更新料は更新者予想数から、過去問販売金は昨年度の販売実績から計上した金額であり、支出面では委託費および前年度のセミナーの状況に鑑みて謝金の額を増額しているという説明が行われた。また、会議費や試験委員会の旅費が計上された経緯について説明が行われた。

5. その他

奥田代表理事より日本医療情報学会の秋季大会の公募企画に応募しているという報告があった。

今後の機構の展開として、放射線領域だけでなく他の領域にもスコープを当てて受検者を増やすためのサイクルを策定し、診療報酬加算関連のセミナーや JCIMI の企画などからアプローチしていくこととなった。

以上をもって議事を終了した。

以上

代表理事	奥田保男
理事	小笠原克彦
理事	上村幸司
理事	川真田実
理事	近藤博史
理事	松田恵雄
監事	錦成郎
監事	渡邊亮一